

<p>1. Exporter (Name, address, country)</p> <p>名古屋商工会議所に登録されている輸出者の英文会社名、住所、<u>国名 (JAPAN) を必ず記載。</u> スタンプの使用は不可。</p>	<p align="center">CERTIFICATE OF ORIGIN issued by Nagoya Chamber of Commerce and Industry Nagoya, Japan</p>	
<p>2. Consignee (Name, address, country)</p> <p>商業インボイスに記載された海外の荷受人名、住所、<u>国名 (記号表示は不可) を必ず記載</u></p> <p>指示式 (To order of ~) での記載も可能</p>	<p>*Print ORIGINAL or COPY</p> <p>1 枚目は「ORIGINAL」、2 枚目以降は「COPY」と表示</p>	<p>3. No. and date of invoice</p> <p>Invoice No. :000000 番号ない場合はNIL 又は横バー (—) を表示 Invoice Date: June 16, 2009 インボイス作成日は必掲</p>
<p>5. Transport details</p> <p>From 積込地 (港)、<u>国名</u> Via 経由地 (港)、<u>国名</u> (積替えのある場合のみ) To 仕向地 (港)、<u>国名</u> By Sea/Air (インボイスに準拠し、便名、出航 (予定) 日の記載も可)</p>	<p>4. Country of Origin</p> <p>原産国名 (JAPAN 又は正式外国名) を必ず記載。複数原産国名の記載は可。国名の記号等での表記は不可。</p> <p>6. Remarks</p> <p align="center">空欄で結構です</p>	
<p>7. Marks, numbers, number and kind of packages; description of goods 8. Quantity</p> <p>荷印・荷番号 (当欄には上詰め記載してください)</p> <p>梱包、容器等に表示の荷印、荷番号を、この箇所に記載してください。 荷印がない場合は N/M 又は No Mark と記載してください。</p> <p>商品名総称</p> <p>①商品名は第三者にも容易に理解できる、具体的かつ一般的な商品名 (HS コード 6 桁相当) を必ず記載してください。 ②信用状 (L/C) 決済の場合、インボイスには L/C 通りの商品名を記載する必要がありますが、原産地証明書については、L/C と矛盾しない一般的な名称で示すことができます (信用状統一規則第 14 条 e 項より)。 ③原産地証明書は「商品の原産国」を証明する書類です。商工会議所の責任範囲を逸脱した記載はできません。 [記載できない例] ・ブランド名、モデル番号、商品コード等のみの表記は不可 ・インボイスに記載すべき個々の取引条件 (価格、契約番号、製品成分など) の記載は不可。 ・品質や性能に関する表現 (First class, Brand new, As is, 製造年 (モデル年含む)、賞味期限など) は不可 など</p> <p>梱包数と種類</p> <p>梱包、容器等に表示の梱包数と種類を、この箇所に記載してください。</p> <p>数量</p> <p>左記掲載品目の個別及び総数量を記載。</p>		
<p>9. Declaration by the exporter</p> <p>Place and date: Nagoya, 宣誓日 (インボイス作成日以降証明申請日まで) ※数字だけの日付表記は不可</p> <p>(Signature) ラバー又は肉筆サイン ※登録済み本人のサインと同じ形状のもの ※会社名、役職は不要</p> <p>(Name) 登録されたサイナーの英文氏名 (フルネーム)</p>	<p>10. Certification</p> <p align="center">※商工会議所使用欄</p> <hr/> <p>Certificate No.</p> <p align="center">※商工会議所使用欄</p>	

1 Exporter (輸出者)

- ① 名古屋商工会議所貿易証明センターに有効登録されている輸出通関申告者（典拠商業インボイスの作成者と同一）であること。
登録されている英文会社名、住所、**国名 (JAPAN)** を必ず記載。
 - ② 在外企業（海外子会社を含む）の申請はできません。
 - ③ 第 3 国への輸出仲介者の代理申請を行う場合は、同代理行為に関する「**委任状 (ひな型)**」または「契約書の写し」を添えて申請してください。
但し、社名から親子会社の関係にあることがわかる場合は不要です。
 - ④ 記載例
 - (例 1) Nagoya Chamber Co.,Ltd.
2-10-19, Sakae,Naka-ku, Nagoya, Japan (郵便番号の記載可)
 - (例 2) Nagoya Chamber Co.,Ltd.
2-10-19, Sakae,Naka-ku, Nagoya, Japan
on behalf of
ABC Corporation
1010 Wacker Dr., Chicago, Illinois 60611, USA
- } 典拠商業インボイスにも同じ表記が必要です
- ⑤ 「Consortium (企業連合体)」の名義での申請については、所定の届出が別途必要です。事前にご相談ください。

2 Consignee (荷受人)

- ① 典拠商業インボイスに記載された海外の荷受人の会社名、住所、**国名 (必掲)** を記載してください。
- ② 3 国間貿易や取引事情により荷受人が掲載できない場合、指示式 (To order、To order of 銀行名、To order of バイヤー名等) の記載も可能です。
指示式の場合、住所、国名の記載は自由です。

Print ORIGINAL or COPY

- ① 同一書類を複数枚作成して認証を受ける場合の表示方法
1 枚目 : ORIGINAL、2 枚目以降 : COPY。
商工会議所の控えを除き、最大 5 枚まで取得可能。
- ② ORIGINAL 表記が複数枚必要な場合、3 枚まで取得可能です。4 枚目以降 : COPY。

表記例

ORIGINAL			COPY		当所控え	
枝番なし	ORIGINAL	ORIGINAL	ORIGINAL	COPY	COPY	COPY
枝番あり	ORIGINAL-1	ORIGINAL-2	ORIGINAL-3	COPY	COPY	COPY

- ③ ORIGINAL が 4 枚以上必要な場合は、L/C 全文写しを添えて申請してください。

3 No. and date of Invoice (インボイス番号と作成日)

①インボイス番号がない場合、NIL 又は横バー (—) を表示。

②インボイス日付 (典拠商業インボイスの作成年月日) は必掲。

9.Declaration by the Exporter 欄の日付以前であることが必要。

作成日は西暦、月、日が特定できる表現 (JAN 20,2010)。数字だけの表示は不可。

③取引事情によりインボイス番号 を記載しない場合は、「L/C 」又は「指示書
写し」を添えて申請 くださ

④「バイヤー、荷受人、船積事項 (船名・出航日)」の3点が同じの場合に限り、複数インボイスを 1
件の原産地証明書で申請可。

インボイス番号の記載は共通箇所を省略せずに正確に表示 (○ : A101,A102,A103、× : A101/102/103)

4 Country of Origin (原産国)

①7 欄に記載された製品の原産国名 (JAPAN、外国の正式名) を記載。国名のアルファベット略式記号
表記は不可。

②日本原産品と複数の外国原産品が混載される場合は、複数国名を掲載。

③7 欄に複数国産品を混載する場合は、製品名の後に原産国 (Made in 国名) を表示。

5 Transport details (輸送手段詳細)

①典拠商業インボイスに記載された輸産品の輸送ルート及び手段を記載してください。

(記載例) From Nagoya, Japan (国名記載)

Via Singapore

To Jakarta, Indonesia (国名記載)

By Vessel(Air) (インボイス通りの便名、出航日等の詳細記載も可能)

② 2 欄で指示式 (To order 等) の記載をしている場合を除き、下記の簡易表記でも結構です。

(記載例) By vessel / By sea / By air / Air cargo

6 Remarks (備考)

①空欄で結構です。

②日本の輸出者と直接の輸入者に係る以下事項を記載する場合は、本欄に載せてください。

- ・ Manufacture/Buyer/End User/Buyer/Cargo Consignee の会社名、住所、国名
- ・ 支払条件、貿易条件
- ・ L/C Number/Proforma Invoice No./Purchase Order No./Contract No./Order No./Indent No
/Sales Note No/Import License No./Insurance Policy No./Importer' s code/Buyer' s P/O
Number

③記載は必要最低限に留めてください。

欄内記載しきれない場合は、記載事項の最後に「*」を付し、7 欄にも同様に「*」を付して続きを記載してください。

④本欄に記載できない事項

- ・他の欄に記載すべき事項
- ・代名詞を含む表現 (this credit/your order number/our reference number)
- ・宣誓文
- ・金額に関する記載
- ・輸入者とその転売先との L/C 番号、契約番号 など

7 Marks, numbers, number and kind of packages, description of goods

記載レイアウトは以下の通りです。

7 Marks, numbers, number and kind of packages, description of goods	8 Quantity
CCI (in dia)	
C/No.1-2 Spare parts for vehicles	5,000 pieces
Made in Japan	
Total:10 packages	

7-1 Marks and numbers (荷印・荷番号)

典拠商業インボイスに準拠して記載。

Air や Courier 等で荷印がない場合 ; No Mark や NIL と記載してください。

7-2 number and kind of packages (梱包数と種類)

典拠商業インボイスと同一の梱包数と種類 (carton, crate, box, pallet, bale 等) を記載してください。

7-3 description of goods (商品名)

①典拠商業インボイスに準拠して、商品名は第 3 者でも容易に理解できる、具体的・一般的な総称 (HS コード 6 桁相当を目安) を記載してください。

②信用状 (L/C) 決済の場合、インボイスには L/C 通りの商品名を記載する必要がありますが、原産地証明書については、L/C と矛盾しない一般的な名称で示すことができます (信用状統一規則第 18 条 C 項より)。

③原産地証明書は「商品の原産国」を証明する書類です。商工会議所の責任範囲を逸脱した記載はできません。

商品名記載の注意事項

- ・ブランド名、モデル番号、商品コード等のみの表記は不可。
- ・インボイスに記載すべき個々の取引条件を商品名と併記することは不可。
〔記載できない例〕金額、契約番号、製品成分等
- ・品質や性能に関する表現は記載不可。
〔記載できない例〕 **First class**／**Brand new**／**Prime quality**／**2nd grade**／**As is**
／**Good working order**／製造年／消費期限
- ・商品が特定できない表記は不可。
〔記載できない例〕 **XXX**（会社名）**Products**／**Spare Parts**／**Machine**／**Advertising Materials** のみの記載
- ・代名詞を含む表現は記載不可。
〔記載できない例〕 **this**、**your**、**our**
- ・プロフォーマ・インボイスやオファー等に記載された商品である内容の記載不可。
〔記載できない例〕 商品名 **as per proforma invoice No. ～**／商品名 **other details are as per indent No. ～**／商品名 **as per attached catalogue**／**This is an integral part of contract**／**Details are as per attached sheet of contract**
- ・インボイスに記載されていてもサービスは記載できません。
〔記載できない例〕 **Installation (Fee)**（設置費用）／**Technical consultation (Fee)**（技術指導費）／**Travel expense**（旅費）／**Freight Charge**（送料）／**Discount**（値引）／**Training (Fee)**（研修費）／**Software**（ソフトウェア）
- ・曖昧で証明書の信憑性に疑念を抱かせる表現は記載不可。
〔記載できない例〕 **Said to contain (S.T.C)**／**Approximately(Approx.)**
／**E. & O. E. (Errors and omissions excepted)**

留意事項

- ・日本原産品と複数の外国原産品が混載される場合は、産品名の後に原産国（**Made in** 国名）を表示してください。
- ・L/C にスペリングミスがあり、その表記を記載する場合は、括弧書きで正しいスペリングを併記してください。
- ・宣誓文を記載する場合は、領事査証指定のみ記載可。

8 Quantity (数量)

- ① 典拠商業インボイスと同一の総数量と単位を記載してください。
- ② 数量が不明確な表示（梱包数のみ等）は不可。
具体的数量が明らかでない場合には、**Net Weight** または **Gross Weight** を記載してください。
- ③ 重量を記載する場合は、**Net Weight** か **Gross Weight** を明記してください。

9 Declaration by the Exporter (輸出者宣誓)

①申告した産品が、当該証明認証規則に定める原産地認定基準（日本産原産地証明及び外国産原産地証明）を満たすものであり、申告内容は真正で虚偽や改ざんに対する責任を申告者が負うことを宣誓したものです。

(Date) 宣誓者がサインを行った日付（典拠商業インボイスの作成日から証明申請日まで）

西暦、月、日が特定できる表現。数字だけの表示は不可。（記載例） **June 12,2009**

(Signature) 登録済署名者の肉筆（自筆）サインもしくはラバースタンプ。形状が異なると判断された場合、証明は発給されません。

(Name) 上記サイナーの英文氏名フルネーム（**Ichiro Yamada**）。代理（For～）サインは不可。

※署名者を特定し、登録済署名と照合するために必要です。

（注意）英文会社名、サイナーの役職は不要。

10 Certification・Certificate No. (会議所証明押印)

①商工会議所使用欄ですので記載しないでください。

②証明日は、書類を申請された日です。

③未来日での証明書の発給は一切行いません。